

## 学びのデザインシート（授業前）

### 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【算数科】

1. 対象 特別支援学校 小学部4年（弱視 単一）
2. 単元名 「垂直、平行と四角形」（全15時間）
3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・垂直、平行、平行四辺形、台形、ひし形の定義や性質を理解し、2つの直線が垂直、平行になっているかを調べ、図形を弁別したり、垂直、平行な直線や平行四辺形、台形、ひし形を作図したりすることができる。
思考力、判断力、表現力等	・図形の構成要素や位置関係に着目して、台形、平行四辺形、ひし形を弁別し、それらの特徴を見いだしたり、作図の仕方を考えたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	・身の回りから、垂直や平行、いろいろな四角形を見つけようとしたり、敷き詰め的活動を楽しみ、平面の広がりや模様の美しさに気付いたりする。

#### 4. 本時の目標

平行四辺形の定義や性質に基づいた作図の仕方を考え、説明することができる。（思・判・表）

#### 5. 授業展開【 本時 】

##### 解決したい課題や問い

平行四辺形のかき方を考えよう

##### 考えるための材料

- ・コンパス
- ・4Bのシャープペンの芯
- ・硬めの段ボール（作図する際に下敷きとして使用）
- ・正解の図形が書かれた透明シート
- ・弱視用定規、三角定規、分度器
- ・定規を書見台に固定する磁石
- ・四辺形の特徴、垂直、平行の作図の仕方が書かれたヒントカード（前時までに児童が作成）
- ・罫線テープ
- ・作図の仕方を記入するワークシート

##### 想定される活動

- ・ヒントカードを見て三角定規を使い、向かい合った辺が平行になるようにかく。
- ・ヒントカードを見てコンパスを使い、向かい合った辺の長さが等しくなるようにかく。

##### 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

前時までに使用した平行四辺形の模型や操作できる教材等を使って図形の全体を捉えるとともに、平行四辺形の特徴が書かれたヒントカードを見ながら特徴を生かした作図の仕方を考える。

##### 学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

平行四辺形の作図の仕方について穴埋めのワークシートに記入しながら手順を説明でき、作図することができる。①辺BCをかく②分度器で $70^\circ$ をはかり、辺ABをかく③三角定規で向かい合う平行な直線をかく。（③コンパスで向かい合う辺の長さが等しくなるようにかく。）